



会員寄稿 「我が子の成長」

校長 八木 俊博

このたびの異動で、新居浜東高等学校より赴任して参りました。どうかよろしくお願いたします。また、日頃より本校の教育活動に対しご理解とご協力をいただき大変ありがたく、感謝申し上げます。

さて、保護者の皆様は、我が子の成長や変化を家庭や学校の生活を通して感じられることがありますでしょうか。私は、保護者の皆様や私たち教員は、何事においても、家庭で子として、学校で生徒として、毎日と接しているからこそ見えている、理解できていることがたくさんあると思っています。しかし、その反面、共に生活していても日々の少しずつの変化やサインに気づかないまま、いつの間にか大きく様子が変わってしまっていることもあるように感じています。例えば、日々の減量で体重が少しずつ減っていても、毎日接していながらその変化に気づかず、久しぶりに出会った友人に「痩せたね!」と言われることだと思えます。子どもたちの発信している小さなサインを見逃さないよう親として、教員としてのそれぞれのアンテナを高く大きく広げておかなければならないと思っています。また、「うちの子に限って・・・」という思いが、見える変化やサインを見逃してしまうことになっているのかもしれない。

「たぶん大丈夫だろう!」ではなく、「・・・かもしれない!」という意識を持っていれば、今まで見えなかったことも見えたり、気づくことができるようになるのではないのでしょうか。このように、毎日接している親子や、先生と生徒の間柄であっても理解できていることと、理解できていないことが、まだまだたくさんあることを子どもたちを支え、見守る大人として、受け止めておかなければならないと思えます。親として我が子の良いところ、まだまだ十分でないところの両方をしっかりと理解していただき、今後のお子様のさらなる成長の支援につなげていただければと思います。

本校の教職員は、保護者の皆様と共に生徒一人ひとりの成長を日々見守り、社会に貢献できる人材として「Self-innovation(自己改革)」の努力目標の下、さらなる成長が叶うよう精一杯指導し支援してまいります。今後とも大洲高校を温かく見守っていただきますようお願い申し上げます。

新学年・新ホームルーム スタート!

～集団宿泊研修 / 遠足 / カヌー大会～

4月12日(1年生)及び13日(全学年)、1年生は集団宿泊研修(国立大洲青少年交流の家)、2年生は遠足(商業科:ふたみシーサイド公園、普通科:富士山)、3年生はカヌー大会を行い、新しいクラスメートや学年団の先生方との親睦を深めることができました。

